

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第2学年では、人々の生活と環境や世界の諸地域における地図の読み取りや、理由の考察の面で部分的ながら学習の定着が見られた。歴史的分野では、中世の日本における資料の読み取りや、考察・表現の面で成果が出ている。
- ・第3学年では、地理的分野における地域調査の手法の読み取りや日本の諸地域の特色、歴史分野においては、ヨーロッパ人との出会いと全国統一、明治時代についておおむね知識の定着をはかることができている。

(2) 課題

- ・第2学年及び第3学年ともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したりする力を一層育成する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年		/	/
第2学年	達成率は50%を下回った。正答率も目標値に達していない。	達成率は50%に止まる。正答率も目標値に達していない。 (第1学年時)	/
第3学年	達成率は前年度を下回り、正答率も目標に達していない。	達成率は昨年度より1.2ポイント上昇したものの、目標値に達していない。(第2学年時)	達成率は50%に止まる。正答率も目標値に達していない。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国際情勢や国際分野の正答率が低く、50%を下回っている問題が3題もあり、基礎知識の定着が必要である。	地理の分野での読み取り問題が5題も目標値を下回り、記述問題が29%の正答率ととても低く、考察・表現する力が不十分である。	無解答での解答が15%を越えている問題が4題もあり、多面的に考えられずに、学習に取り組む態度に課題が見られた。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回る。南アメリカやオーストラリアの地誌、縄文時代から平安時代までの歴史で、基本的な知識理解が不十分な面がある。	目標値をやや下回る。複数の資料を読み取り考察する問題で、不十分な面がある。ヨーロッパの航空機生産で国際分業する理由についての考察は、目標値を上回った。	目標値を下回る。何より提示された資料に興味・関心を持ち、資料を正しく読み取った上で、理由などを的確に文章化していく記述面での課題が残る。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に達していない。知識に関しては歴史の江戸時代の問題が目標値を大きく下回る。基本的な知識の定着が不十分である。	目標値に達していない。資料を読み、そこから社会的な視点を持ち、考察する力が不十分である。	目標値に達していない。特に記述問題の正答率が低く、粘り強く学習に取り組む力が不十分である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストを多くし、単元ごとに既習事項の確認をしていくことで、達成率の値を65%と今よりも3%の上昇を目指していく。	地理の授業で、資料から様々な気候や生活などを読み取る練習を多くする。また、レポート作成の課題を多くし、記述問題になれさせていく。	記述問題の正答率が低く、無回答の生徒も多かったので、自分の意見を書かせ、発表していく授業を多く導入していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元ごとの小テストを数多く実施することで、知識理解の定着を図る機会を増やす。ICT機器を活用して、時計資料や歴史資料を読み取るポイントを視覚的に提示していく。	単元ごとの見通しや振り返りで、自分の言葉で文章化する学習習慣を身に付けさせる。一人一台端末を用いて、グループや学級全体で考えを共有しながら学び合う機会を設定する。	ICTを活用して、映像など視覚的教材を提示することで興味・関心を喚起する。調べ学習を通じて関心を深め、必要な資料を主体的に収集する態度が身に付くよう支援していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元ごとに小テストなどを実施して、知識の定着を図る。ICTを使用し、視覚的な情報を用いて、生徒たちの知識の向上を目指す。	単元ごとに振り返りシートを記入し、単元を通じた問いの解決策なども記入する。また、獲得した知識をレポート課題などを通してまとめ、自らの考えを述べる力を伸ばしていく。	記述問題などの回答率が低くなっている。授業の中で自らの意見を述べる機会や他者との対話する授業をおこない、生徒の主体的に取り組む態度を伸ばしていく。